

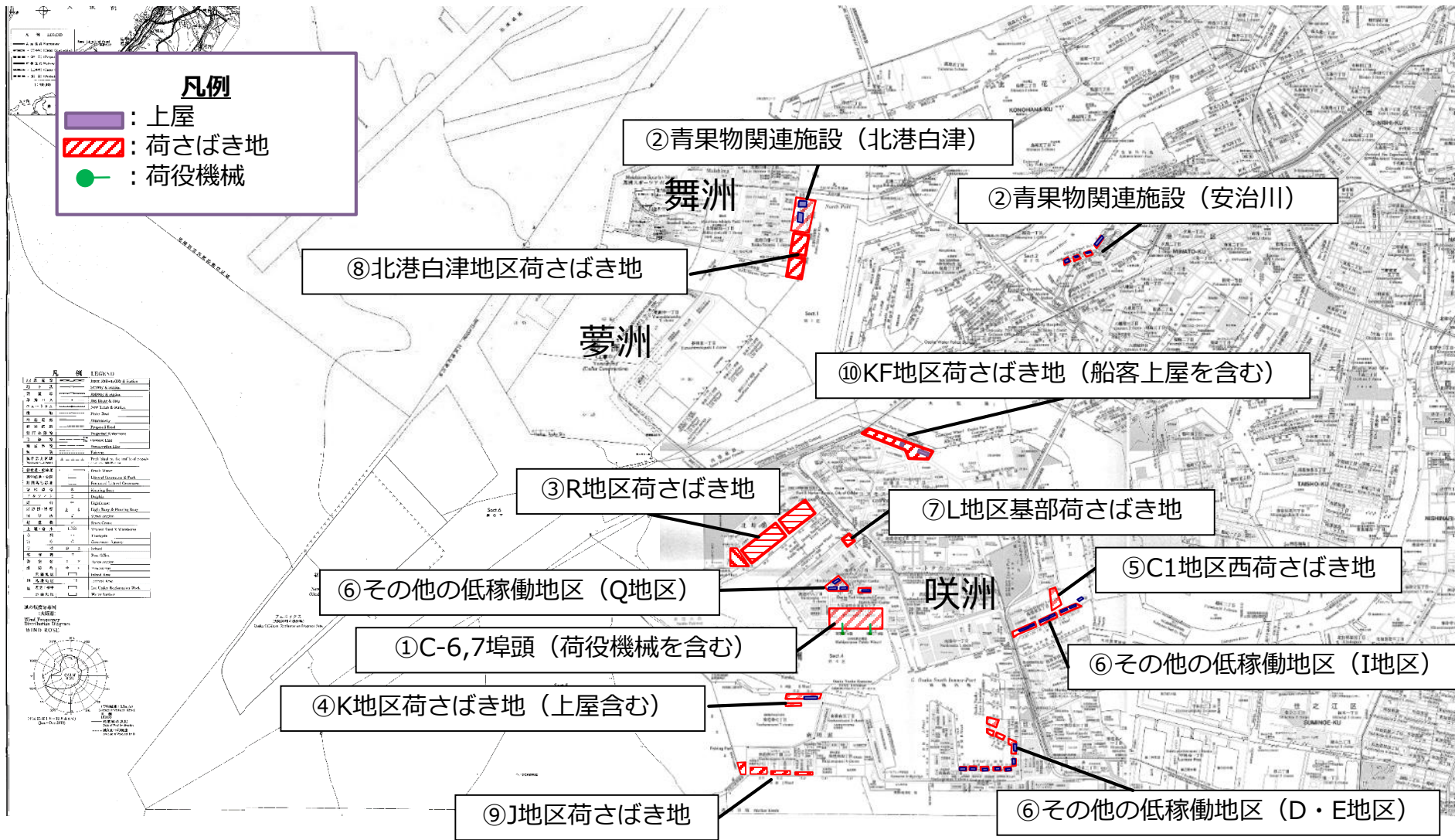
Ⅲ 施設提供事業の課題

個別課題の抽出

《経営計画（平成30年度決算）における個別課題の抽出の考え方》

- 個別課題については、平成30年度決算の計数を基に地区あるいは施設単位で「赤字」となっているもの（11地区）を抽出した。ただし、平成30年台風第21号の影響により一時的に稼働率が下がったものの、令和元年度には赤字を解消出来る見込みがある施設（A・B地区）については、検討の対象から除外した。

個別課題の箇所図



2. 個別課題

- | | |
|----------------------------|---------------|
| ① C-6、7埠頭（荷役機械を含む） | （短期的取組、中期的取組） |
| ② 青果物関連施設 | （中期的取組） |
| ③ R地区荷さばき地 | （中期的取組） |
| ④ K地区荷さばき地（上屋含む） | （中期的取組） |
| ⑤ C1地区西荷さばき地 | （中期的取組） |
| ⑥ その他の低稼働地区（D・E地区、I地区、Q地区） | （短期的取組） |
| ⑦ L地区基部荷さばき地 | （短期的取組） |
| ⑧ 北港白津地区荷さばき地 | （中期的取組） |
| ⑨ J地区荷さばき地 | （中期的取組） |
| ⑩ K F地区荷さばき地（船客上屋含む） | （中期的取組） |

IV 経営改善策

1. 全般的課題への対応

① 稼働率向上のための分析及び戦略策定が必要

課題解決のための現状認識

- 上屋及び荷さばき地の施設稼働率は全体で平均66%となっており、一部の施設では稼働率を上昇させる余地がある。
- 稼働率の向上のためには、SWOT分析による戦略案と事業者ヒアリング双方の結果から導き出された大阪港の競争力強化策（取扱貨物量増加）に取り組むことが必要である。

